

事項	チモシーの奨励品種「ユウセイ（系統名SBT-0301）」の特性		
ねらい	本県に適するチモシーの品種を選定するため、生育特性及び生産性を調査した結果、平成21年に「ユウセイ」が既存の奨励品種と比較して耐倒伏性、永続性及び収量性に優れることを明らかとしたが、平成26年から種子が販売されることから奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴</p> <p>「ユウセイ」は、雪印種苗株式会社北海道研究農場において、昭和56年から開始した育成プログラムから収量性、耐病性等の農業形質で選抜された優良な6栄養系の相互交配による合成品種法により育成された。育成系統名は「SBT0301」としたが、その後、「ユウセイ」で平成23年品種登録を行った。</p> <p>2 特性の概要（標準品種「クンプウ」との対比）</p> <p>(1) 発芽の良否：優れる。</p> <p>(2) 越冬性及び早春の草勢：同程度で良好である。</p> <p>(3) 出穂始期：1日程度遅い極早生品種である。</p> <p>(4) 病害の発生：同程度である。</p> <p>(5) 耐倒伏性：優れる。</p> <p>(6) 永続性：利用3年目最終刈取り後の基底被度が100%であることから優れる。</p> <p>(7) 乾物収量：3か年平均で105%の多収を示す。番草別では1番草の収量が優れる。</p>		
期待される効果	粗飼料の安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成21年度東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 生育特性 (平成18～21年 青森畜産研)

形質	品種名		備考 (評点法)
	ユウセイ (SBT-0301)	クンプウ (標準品種)	
発芽良否	8.0	7.0	1 (極不良) ~ 9 (極良)
越冬性	9.0	9.0	〃
早春の草勢	7.3	7.1	〃
出穂始期	6月1日	5月31日	月日
倒伏程度	1.3	2.7	1 (無・微) ~ 9 (甚)
病害程度	8.0	8.0	〃
草丈 (1番草)	103	104	cm
草丈 (2番草)	80	77	〃
草丈 (3番草)	35	38	〃
秋の被度	100	88	%

- (注) 1 発芽良否は平成18年秋、越冬性は平成19年春の調査。
 2 早春の草勢、出穂始期、草丈は平成19年～21年の3か年平均。
 3 病害は平成19年の2番草に葉枯性病害が発生した。
 4 倒伏は平成21年の1番草に発生した。
 5 秋の被度は平成21年の最終刈取り後の基底被度。

表 2 利用年次別乾物収量 (kg/10a) (平成18～21年 青森畜産研)

品種名	利用1年目 (平成19年)	利用2年目 (平成20年)	利用3年目 (平成21年)	3か年平均
ユウセイ	866 (92)	1,279 (119)	1,289 (103)	1,145 (105)
クンプウ (標)	944 (100)	1,079 (100)	1,254 (100)	1,092 (100)

表 3 番草別乾物収量 (kg/10a) (平成18～21年 青森畜産研)

品種名	1番草	2番草	3番草
ユウセイ	752 (109)	232 (97)	160 (100)
クンプウ (標)	692 (100)	240 (100)	160 (100)

(注) 3か年平均。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種量及び播種方法 平成18年8月31日、2kg/10a、散播
- 施肥量(10aあたり) 土壌改良資材：炭カル300kg、ようりんP₂O₅で25kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=5-5-5kg
 追肥：以下のとおり

追肥量(N-P₂O₅-K₂O) (kg/10a)

年次	早春	1番草後	2番草後	年間計
利用1年目	5.0-3.3-3.3	3.0-2.0-2.0	2.0-1.3-1.3	10.0-6.6-6.6
利用2年目以降	8.0-5.3-5.3	4.8-3.2-3.2	3.2-2.1-2.1	16.0-10.6-10.6

- 刈取り 1番草は早生品種「ノサップ」の出穂始期、再生草は「ノサップ」の草丈が60～70cmに達した時期。(一斉刈り)